

桐生市議会議員34歳！！

相沢たかふみが歩く



若さで挑戦！！
改革桐生！！

平成22年 7月号 33号

相沢たかふみ後援会
桐生市東5-5-41
TEL 0277-43-9977
FAX 0277-43-9988
MAIL:takafumi-a@isis.ocn.ne.jp

↑ 6月議会 ↑

6月議会では一般質問でみどり市との合併問題や入札制度の矛盾などについて多くの議論を展開しました。

また、庭山議員に対しての懲罰動議が可決されました。

「一般質問」

＜みどり市との合併＞

市長の主張

- ・両市のサービスを平準化させ均一化することが合併の気運を高める。
- ・連携推進市長会議が合併への近道である。

相沢の主張

- ・合併とはそれぞれの地域が持つ魅力を個々に発揮し、その個性と個性が融合することにより、魅力ある地域作りが実現できる。
- ・サービスを平準化してしまったら、その時点で合併をする意味はなくなる。
→魅力ある市と同等のサービスが得られるなら合併する利点が薄れてしまうから。
- ・合併を実現するためには任意合併協議会や法廷合併協議会を立ち上げ話し合うことこそ合併の近道である。

＜連携推進市長会議について＞

・市長は連携推進市長会議が合併への近道であると主張してましたが、この会議でみどり市との合併が実現できたのか。

(回答) 合併への機運の盛り上げに役に立ったと感じている

→連携推進市長会議では合併が実現できなかったことが判明。

・さらに、再び新たな研究会を立ち上げるそうだが、それならば、これまでの会議の結果も踏まえて反省点などを総括して次ぎに進むべきではないか。

(回答) 市長からは明確な答弁はいただけませんでした。

＜(仮称)桐生・みどり地域将来ビジョン研究会設置について＞

・新たに設置を予定している研究会設置について、桐生市長からみどり市長への設置の要望書・みどり市長からの回答書を見ると合併の考え方に大きな隔たりがあると感じる。

であるならば、この会議は、両市の合併についてどのような位置づけとなるのか。

※「大きな隔たり」とは、桐生市は合併のための研究会。みどり市は両市の将来に向けての話し合い。必ずしも合併のための研究会とは言っていない。ということです。

(回答) みどり市にも事情があるでしょうから、かならずしも私の認識と一致しているものではありません。ただ、みどり市側が合併を否定しているということはないと思います。

＜任期1年を残す中でのみどり市との合併実現について＞

・市長は実績を判断できる選挙パフォーマンスではない公約としてマニフェストを作成し市長に当選しました。そのマニフェストの1番目にみどり市との合併を掲げ、議会で一刻も早く実現したいと発言してきました。

・マニフェストは任期4年の中で実現できるものとして発表され、多くの市民が合併実現に期待してきました。

・任期一年を残す中でのみどり市との合併を実現できるのかなどについて質問しました。

(回答) 将来ビジョン研究会で判断できると考えるが、残り1年では大変厳しい状況である。では、任期内での合併は実現できないということか！？

(回答) できないとは言わないが、厳しいです。

決断を先延ばしにされた感がある議論でした。

＜機構改革について＞

・市民サービス向上のために行政内の機構改革を実現する有用性などについて質問しました。

<入札制度>

桐生市では、入札業者にランク付をしています。その評価方法についての質問をしました。

→ランク付について

4月から制度改正が実施され、既存のABCランクに加え、BランクをB1とB2に分けた。この制度の周知やメリットについて質問をしました。

(回答) 経営事項審査700点を境にB1/B2に分け、700点以上の業者は高額な工事を施工する能力があると認め、B1にランク付けをしました。

メリットは、高額な工事についてB1の業者が入札に参加出来る。つまりAランクだけでなく、B1までの業者が入札に参加出来る。

議会や業者の方への説明や周知を行う配慮が足らなかった。

→700点以上の業者がAランクの入札に参加出来るのは良いことだ。が、市役所の主観が10%入るこの点数方式では、業者に不信感が出るのではないか。

不透明感を払拭するためにも細かいランク付けは必要ないと考える。

業者をB1とB2に分ける明確な根拠について質問しました。

(回答) 自信を持ってランクをつけている。

その後も同じような答弁が繰り返され、非常に不自然な議論になり、全く納得が行きません。さらに、議会にも報告がなかったということで、この件に関しては担当委員会において、急遽議論を行います。

→新たな制度について

現在公共工事は工事終了から2年間の品質保証をしている。しかし、実際に工事終了後に検査は行っていない。

高品質の工事が実施できるように、工事終了後から1年後に検査を行うように新たな制度を提案しました。



「庭山由紀議員に誤報の訂正と謝罪を求める決議案」

庭山由紀議員に誤報の訂正と謝罪を求める決議

庭山由紀議員は、平成22年5月に広範な市民に向けて発行した議員活動報告の中で、年額32万4千円である桐生市議会の政務調査費について「月に32万4千円」と事実を誤報した。事実を誤解した市民から諸議員への問い合わせが多発し、問い合わせを受けた諸議員が訂正にあたらざるを得ない事態となった。

議長が庭山議員に対して誤報を訂正するよう文書(5月28日付)で要請したが、庭山議員は手渡された要請文を自ら読み上げた後、その場で破り、回答せずに立ち去った。

6月10日に開催された議員運営委員会の場で事実経過と意志の確認を行うために、議長が庭山議員に同委員会への出席を要請したが、会期中にもかかわらず庭山議員は出席せず、当日の再度の出席要請をも拒否した。

広範な市民への事実の誤報とその放置は、市政や議会の評価についての市民の判断を誤らせるものである。また、訂正を求める要請文書を破って回答なしに立ち去り、事実経過と意思確認の場への出席をも拒否する態度は、議会を攪乱して秩序を破壊する行為であるとともに、市民への説明責任を果たさない行為である。

庭山議員に対して繰り返し、誤報の訂正を求めるとともに、謝罪と反省を求めるものである。

非常に残念に思う。「誤って改めるをはばかるなかれ」という。潔く間違いを認める勇気を持つ。人として、市民を代表する議員としてその姿勢を忘れてはならない。

その後、一身上の弁明の機会を与えられた庭山議員から、断じて許すことの出来ない発言がありました。

感謝状。身の程も弁えられず、重ね重ねくだらない作文を発表し、市民の覚醒に多大な成果をあげてくれました。今後も笑わせてくれることを期待して、感謝状を贈呈します。

平成22年6月17日 桐生市議会議員 庭山由紀
一人ずつ、どの方が賛成してくださるのかわかりませんでしたので、とりあえず全議員のものを作ってきました。庶務課の方に預けておきますので、ご希望の方は一枚ずつお取りください。

誤報の訂正と謝罪を求める決議案が審査されている中、弁明という機会を与えられたにもかかわらず、このような発言をすることは断じて許すことは出来ませんでしたので、5日間出席停止の懲罰動議を提出しました。

庭山由紀議員に対する5日間の出席停止の懲罰の動議

庭山由紀議員が平成22年6月17日の本会議日程第19議第14号議案「庭山由紀議員に誤報の訂正と謝罪を求める決議案」における本人の弁明において行った「感謝状。身の程も弁えられず、重ね重ねくだらない作文を発表し、市民の覚醒に多大な成果をあげてくれました。今後も笑わせてくれることを期待して、感謝状を贈呈します。平成22年6月17日、桐生市議会議員庭山由紀。一人ずつ、どの方が賛成してくださるのかわかりませんでしたので、とりあえず全議員のものを作ってきました。庶務課の方に預けておきますので、ご希望の方は一枚ずつお取りください。」との発言と感謝状を贈るという行為は、弁明とは言うに及ばず、前代未聞の議員としてあるまじき行為であり、桐生市議会と市民を著しく愚弄するものである。

我々は、このような発言と行為が、市議会において行われることを断じて許すことはできない。これら庭山由紀議員の一連の行動は、地方自治法第132条及び桐生市議会会議規則第142条の規定に抵触するものと思料する。よって、本動議を取り上げ、懲罰委員会設置の上、出席停止5日間の処分を求めるものである。

この懲罰は全会一致で可決されました。

懲罰の種類は、戒告・陳謝・出席停止・除名と4種類ある中で、戒告についてはすでに問責決議2回提出して本人に責任の所在を明らかにして反省を促そうとしましたが、理解を得られず、陳謝についても、本日の本会議において、決議案の弁明時に謝罪する機会があったにもかかわらず、謝罪が行われなかったことから戒告や陳謝が妥当とは考えられませんでしたので、出席停止がやむなしと判断にいたり、この動議を提出しました。

私たちは立法府の一員として、行政のチェック機関として、市民の代表として、桐生市の発展と、市民福祉の向上のために存在し、その議論の場として市議会が存在するのです。

本来ならば、このようなことを議論することなく、「市民の皆様のために」を念頭に置き、活発な議論を展開して行かなくてはなりません。

その中には、当然主義主張や思想の違いなどはあります。しかし「市民の皆様のために」があれば、議論の中からよりよい結果を導き出せると考えています。

今後このようなことが起こらないことを願い、市政発展のために、全力で議論していきたいです。